



QRコード先の町公式サイトでは、地域別のごみ収集カレンダーや、「ごみ」の分け方・出し方・注意事項を記載しています。ご覧ください。

## 資源ごみ回収ステーション

雑がみ以外の資源ごみも出しやすいように「資源ごみ回収ステーション」も町内4カ所に設置してあります。ご利用ください。

- ▶ **対象品目**：ダンボール、新聞・雑がみ類、空きカン類、紙パック、ペットボトル、白色トレイ
- ▶ **利用可能時間**：8:30～17:15 / 年末年始、設置施設の休館日（祝日の場合は翌日休館）除く

### 文化福祉センター（毎週木曜休館）



畠田 8 丁目 1718

### 清掃事務所



王寺 1 丁目 4227-3

### 旧中央公民館



久度 2 丁目 3652-1

### いずみスクエア（毎週木曜休館）



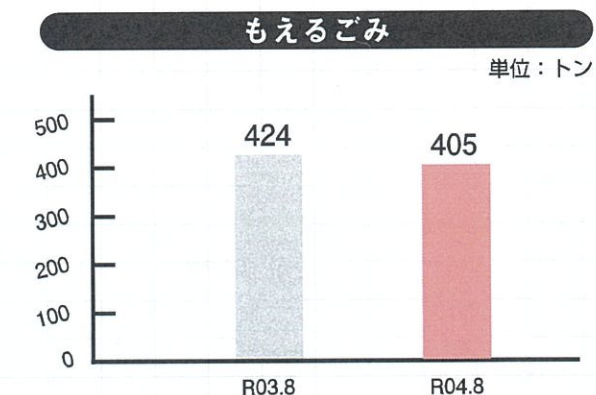
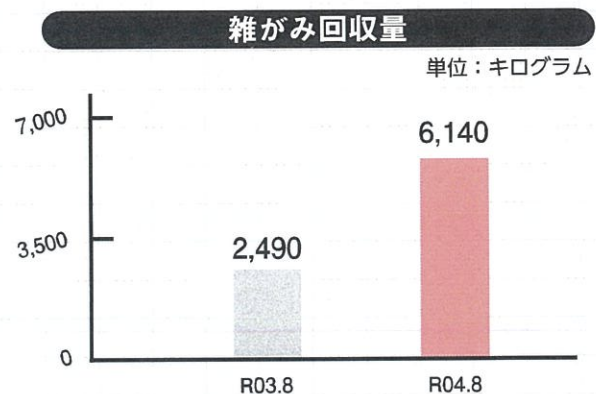
本町 4 丁目 645-1

## 雑がみチャレンジ結果



昨年11月に、雪丸が目印の「雑がみ回収袋」を配布しました。配布を機に、皆様のご協力により、下記のとおりこれまで「もえるごみ」として出されていた雑がみが、「資源」として回収されています。

皆さんには様々なかたちで「3R」に取り組んでいただいておりますが、とくに「雑がみ回収」で成果がありました。昨年の回収量と比べて大きく増加し、もえるごみの回収量も減少しています。ごみ分別に取り組めば、もえるごみの減量に効果的なことがわかります。これからも、ごみの分別回収にご協力をお願いします。



1年間で **19** 톤 のもえるごみを削減



# ごみ減量化プロジェクト

10月は「食品ロス削減推進月間」と「3R推進月間」です。  
ごみの減量化にとって重要なこのふたつの取り組みを通して、まちのごみ事情を考えます。

園住民課（内線 106）

**食品ロスを防ぐ**  
日本では、年間600万トン以上の食品が食べられることなく捨てられています。そのうちの約300万トンが家庭から発生しており、日本人1人当たり年間50キログラム、毎日お茶碗約1杯分（約140グラム）の食品を捨てている計算です。食品ロスを減らせば、もえるごみ1人1日マイナス100グラムも実現できます。食品ロスの原因は、購入した食品を使い切れないまま捨ててしまうことが主な理由です。この状況をなくすためには、次のような行動が効果的です。

**【食品ロス削減に効果的な方法】**

- 使いきれぬ分だけ買う
- 家にある食材・食品をチェックする
- 肉や魚の保存方法を工夫する
- 冷蔵庫や食品ストックをこまめにチェックして、「食品ロス」の減少にご協力ください。

**3Rってなんだ**  
「3R」とは、ごみを減らし、ごみの焼却や埋立による環境への負担を少なくして限りある地

球の資源の使用を減らすため、資源を有効的に繰り返し使う社会「循環型社会」を実現するための重要なキーワードです。次の3つの取り組みの頭文字から名付けられました。

**Reduce・リデュース**  
ごみも資源ももたら減らそう

- 不要なものは買わない、もらわない
- 食品ロスを減らす
- マイバッグ、マイ箸、マイボトルを利用する

**Reuse・リユース**  
詰め替え商品を利用する

**Recycle・リサイクル**  
資源として再び利用しよう

- 資源の分別を徹底して、リサイクルに協力する
- 地域で実施している再生資源集団回収に協力する
- 再生品やリサイクル製品を積極的に利用する

- 再使用できるリターナブル容器のものを買う
- なくても使えるものはリサイクルショップやフリーマーケットに出す
- リースやレンタル品を利用する